

The 26th Annual Academic Conference of the Japanese Telemedicine and Telecare Association

第26回日本遠隔医療学会学術大会

<http://jtta2022.umin.jp>

遠隔医療はパンデミック時代の
ゲームチェンジャーになるか？

プログラム
抄録集

2022年
10/28(金)
10/29(土)

大会長 本間 聡起

独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター
健康管理センター長

プログラム委員長 秋山 美紀

慶應義塾大学環境情報学部教授・医学部衛生学公衆衛生学教室兼担教授

実行委員長 小林 直樹

埼玉医科大学保健医療学部臨床工学科教授

学会事務局：埼玉メディカルセンター 健康管理センター
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-9-3

運営事務局：株式会社コンベンションアカデミア内

〒113-0033 東京都文京区本郷3-35-3 本郷UCビル4F

TEL：03-5805-5261 FAX：03-3868-2113 E-mail：jtta2022@coac.co.jp

Canon

長く厳しい、COVID-19との闘い。
最前線に立ち続ける医療従事者のみなさまへ
キヤノンメディカルシステムズは、
深い感謝を捧げます。
世界が、ふたたび輝きはじめる日の訪れを
全社員が自らの胸に描き、
みなさまと、ともに歩む企業として
これからも力の限り医療の現場を支えてまいります。



医療従事者のみなさまへの
かわらぬ感謝を
いつも、心に灯して。

第26回日本遠隔医療学会学術大会

JTTA 2022 SAITAMA

プログラム集

遠隔医療はパンデミック時代の ゲームチェンジャーになるか？

- [会 期] 2022年10月28日(金)~29日(土)
- [会 場] 埼玉会館
- [大 会 長] 本間 聡起 (独立行政法人 地域医療機能推進機構
埼玉メディカルセンター/健康管理センター)
- [プログラム委員長] 秋山 美紀 (慶應義塾大学環境情報学部・医学部衛生学公衆衛生学教室)
- [実行委員長] 小林 直樹 (埼玉医科大学保健医療学部臨床工学科)
- [大会事務局] 独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 4-9-3
- [後 援] 日本医師会、埼玉県医師会、東京都医師会、
群馬県医師会、栃木県医師会、埼玉県

INDEX

大会長挨拶	1
参加者へのご案内	2
座長・演者へのご案内	5
交通案内	7
会場案内	8
企業展示のご案内	9
協賛企業・団体一覧	10
日程表	11
プログラム	13
後付	34

第 26 回日本遠隔医療学会学術大会

大会長 本 間 聡 起

このたび、第 26 回日本遠隔医療学会学術大会を、さいたま市にて 2022 年 10 月 28 日・29 日の 2 日間にわたって開催する運びとなりました。

今年は、本学会の前身である第 1 回遠隔医療研究会が開催された 1997 年から四半世紀を経た年です。また、1997 年は、遠隔医療が一定の条件下では医師法で禁じた無診察診療に抵触しないとした、遠隔診療に法的根拠を与える解釈が当時の厚生省から示された、いわば遠隔医療元年とも言える年でした。当時は信号処理・画像圧縮などの技術的進歩に背中を押されて、D to D 形式の遠隔放射線画像診断サービスを提供する事業者が立ち上がった後、D to P の遠隔診療もこれに続けと、熱気を帯びていました。

実際、遠隔医療は情報通信技術（ICT）の発展に伴って、その可能性を拡げてきました。一方で、人口の高齢化や医療資源の偏在化などの社会的課題に対して、さらに最近では、世界的な COVID-19 の感染流行とそれに伴う生活様式の変化に対して、遠隔医療はゲームチェンジャーとしても期待されています。そして、遠隔医療の発展には、医療従事者に工学系や社会学系の専門家に加え、遠隔医療システムに係る様々なソリューションを提供する企業の方々との共同作業が不可欠と思われます。

今大会では、このような多種多様な分野の参加者が交流を深める場を提供できるようなプログラム造りに努めました。遠隔医療の益々の発展に向けて、多くの参加者にとって、本大会が新たな着想から共同事業・共同研究へのきっかけになることを祈念いたします。

参加者へのご案内

ハイブリッド開催にあたり

この度、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、現地開催、LIVE 配信・オンデマンド配信を行うハイブリッド開催とさせていただき運びとなりました。参加登録いただいた方には、現地での参加、LIVE 配信・オンデマンド配信を視聴いただけます。

現地での開催にあたり、会場（埼玉会館）の利用ガイドラインでの対策を厳守し、本会として下記の感染対策を実施いたします。

ご参加を予定されている参加者・演者・座長・協賛企業の皆様におかれましては、様々な対策をご確認いただきますとともに、安全・安心な学会の開催成功に向け、感染防止のためのお願い事項について、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

●ご来場の前に

ご入場には、「健康状態申告フォーム」への回答が必要です。学術大会 HP メニューから「健康状態申告書」をダウンロードして必要事項を記入し、会期当日、参加受付でご提出ください。申告内容によっては、ご入場をお断りする場合があります。皆様にはご不便をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

●新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の項目にご協力をお願いいたします。

- 会場内ではできる限りマスクを着用してください。
- 施設入口での検温実施にご協力ください。
- 施設入口や各会場入口では、消毒液を配置いたしておりますのでご利用ください。
- 座長席・演台にも消毒液を設置いたします。マイク、マウス、レーザーポインターをご利用の前後には必ず手指の消毒をしてください。
- 三密回避のため講演会場内での配置は間隔をあけております。立見はご遠慮ください。
- 朝一番の当日参加登録受付は混雑が予想されますので、時間に余裕をもってお越しください。

●その他感染対策

- 講演会場、展示会場の換気を徹底します。講演中も入口を締め切らず、密閉状態を作らないようにします。
- 人と人の間隔を確保して参加者を整理・誘導します。
- ランチョンセミナーでは、登壇者以外は一方向での黙食にご協力ください。

1. 参加受付

受 付：埼玉会館 大ホールホワイエ

日 時：10月28日（金）9：00～17：30

10月29日（土）9：00～16：30

参加区分	事前参加登録	当日参加登録	オンデマンド参加登録
会 員 注1)	12,000 円	14,000 円	14,000 円
賛助会員（会員施設職員・社員）	12,000 円	14,000 円	14,000 円
非 会 員	14,000 円	16,000 円	16,000 円
学 生 注2)	—	3,000 円	3,000 円

注1) 遠隔医療学会会員のほか、次の関連学会会員も含まれます。「日本禁煙科学会、日本ルーラルナーシング学会、日本デジタルパソロジー研究会、日本医療情報学会、日本老年医学会」

注2) 学生の方は、学生証の提示が必要です。

※会場内では参加証（ネームカード）を必ず着用してください。

※ネームカードケースは、参加受付付近に置いてありますので、お受け取りください。

※オンデマンド配信期間：11月14日（月）～12月13日（火）を予定しております。

※プログラム・抄録集（PDF）は学会ホームページよりダウンロードしてください。

●事前参加登録をされた方へ

参加受付にて参加証（ネームカード）をお渡ししますので、事前参加登録の参加証を印刷してお持ちください。参加登録マイページの参加証画面を提示いただいても入場いただけます。

●プログラム・抄録集の紙面発行はございません。

プログラム・抄録集（PDF）は、大会ホームページより閲覧、ダウンロードしてください。

閲覧パスワードは、参加登録時にご登録いただいたメールアドレスにお知らせします。

2. 学会入会および会費納入の手続き

本学会の入会手続き及び未納会費の納入は、会期中「参加受付」横の「日本遠隔医療学会入会のご案内」で、受け付けます。

投稿規定により、責任著者は日本遠隔医療学会の会員に限ります。非会員共著者は論文掲載料が責任著者に請求されます。非会員共著者で入会ご希望の方は日本遠隔医療学会ホームページ（http://jtta.umin.jp/frame/j_06.html）より入会手続きをおとりください。

3. 学会論文集（日本遠隔医療学会雑誌 18 巻補完号）

- 学会論文集（日本遠隔医療学会雑誌 18 巻補完号）は学会員には既に郵送されています。大会中必要な方はご持参ください。
- 学会論文集（日本遠隔医療学会雑誌 18 巻補完号）は非会員でご希望の方には当日販売いたします。学会員でも当日忘れた場合は有料販売となります。
- 当日、日本遠隔医療学会に入会された場合は、学会論文集（日本遠隔医療学会雑誌 18 巻補完号）は無料で配布いたします。また後日バックナンバー（日本遠隔医療学会雑誌 18 巻 1 号、2 号）も郵送にてお送りいたします。

4. 企業展示

日 時：10月28日（金）9：20～18：00

10月29日（土）9：20～18：00

場 所：埼玉会館 大ホールホワイエ

5. ランチョンセミナー

ランチョンセミナーではお弁当をご用意しております（整理券はございません）。

ランチョンセミナー会場前で、お弁当を配布いたしますので、直接会場までお越しください。予定数量に達し次第終了いたします。

6. クローク

埼玉会館 大ホールホワイエに設置しております。

7. 無料 Wi-Fi

会場のものはございません。各自ご持参ください。

8. その他のご案内

- 参加者専用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用いただけますようお願いいたします。
- 会場内では携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。
- 許可のない録音、録画、写真撮影は一切禁止となります。
- 会場内での呼び出し、伝言等は承りかねます。総合受付周辺の掲示板をご利用ください。緊急時は総合案内にご相談ください。

座長・演者へのご案内

開催形式はハイブリッド形式ですが、座長・演者の皆様は、会場にお越しいただき、ご登壇いただきますようお願いいたします。

1. 座長へのご案内

- 1) 担当セッションの開始時刻の20分前までに、会場内の前方右手の次座長席にご着席の上、進行席スタッフへ到着の旨をお知らせください。
- 2) 各セッションの進行は座長に一任いたします。「発表時間について」をご参照の上、時間の厳守をお願いいたします。

2. 演者へのご案内

1) 演者受付 (PC 受付) について

発表会場の PC センターにて受付をお願いします。

ご発表の30分前までにそれぞれの発表会場の PC 受付にて試写をお願いいたします。

	第1・第2会場での発表	第3会場での発表
	埼玉会館 小ホールホワイエ	埼玉会館 3F 3C 会議室前
10月28日(金)	9:00~17:00	9:00~17:00
10月29日(土)	9:00~17:00	9:00~17:00

2) 発表時間について

発表・質疑応答時間は次表のとおりです。

セッション	発表時間	質疑応答	総合討論
一般演題 (A 演題)	10分	5分	なし
一般演題 (B 演題)	7分	3分	なし
指定演題・分科会	メールにて個別にお知らせしております		

卓上に設置してある計時回線で進行状況をお知らせします。

発表中：緑ランプ

発表終了1分前：黄ランプ

発表終了：赤ランプ

質疑応答の時間の時間管理はいたしませんので、進行に遅れが出ないようにご協力をお願いいたします。

3) 発表用データの作成

《学会会場で準備しているパソコン》

会場では Windows がインストールされたパソコンをご用意いたします。

使用可能なアプリケーションは PowerPoint (2019、2016、2010) です。

- ①参加受付をお済ませのうえ、ご発表の30分前までに PC 受付にて試写をお済ませください。
- ②メディア媒体はウイルスチェック済みの USB フラッシュメモリ、CD-R にてお願いいたします。
- ③メディアの中には、当日発表分のデータのみ入れてください。
- ④講演に使用する PC はすべて XGA (1,024×768) に統一してあります。
- ⑤ファイル名は「演題番号_演者名.pptx」(例：01-1_遠隔太郎.pptx) としてください。

- ⑥ Macintosh で作成したデータの場合は、必ずご自身の PC をご持参ください。
- ⑦ OS 標準フォントをご利用ください。
- ⑧ 動画ファイルは MP4 (H.264、ビットレート 10Mbps 以下) を推奨します。
- ⑨ タブレット端末を利用する場合はご遠慮ください。
- ⑩ お預かりしましたデータは、終了後、責任を持って消去いたします。
- ⑪ 発表時は COI 開示のスライドをご提示ください。

【PC 本体持込の際の注意点】

- ① プロジェクターのモニタ端子は、D-sub15 ピンです。変換コネクタが必要な場合は、ご自身でお持ちください。
- ② AC アダプタを必ずお持ちください。
- ③ パスワード設定、スクリーンセーバー、省電力設定はあらかじめ解除してください。
- ④ タブレット端末を利用する場合はご遠慮ください。
- ⑤ 万一パソコンが不調な場合に備えてデータのバックアップを USB フラッシュメモリか CD-R でご用意ください。
- ⑥ スムーズな進行をするために「発表者ツール」の使用はお控えください。
- ⑦ 発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。会場でのプリントアウトは対応しておりません。

4) 演者の先生

発表開始時刻の 20 分前までに、会場内の前方左手の次演者席にお着きください。

現地参加が難しい演者へ

必ず事前に大会ホームページより発表データをご提出いただきます。

ご提出いただいた発表データを現地会場にて放映いたします。

※リモート（ライブ）参加不可のため、発表データ提出の場合、質疑応答はございません。

※座長は原則現地参加のみでございます。

ただし、万が一、座長が現地参加出来ない場合は、必ず事前にご連絡ください。

他の参加者に代理として本大会から依頼をいたします。

交通案内

埼玉会館

〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4

【交通のご案内】

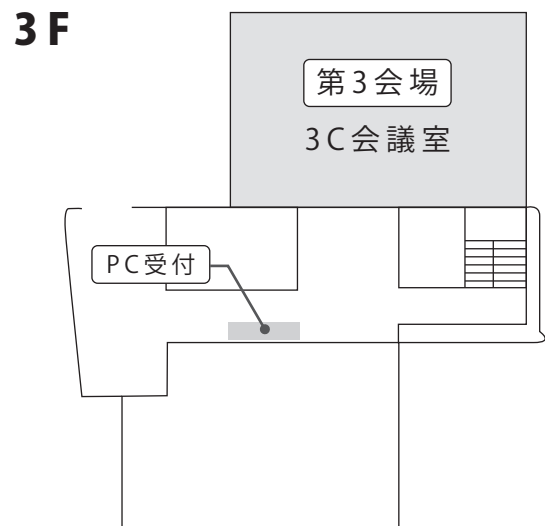
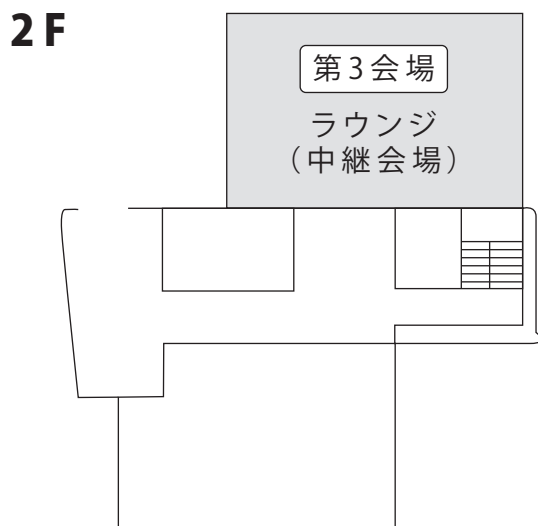
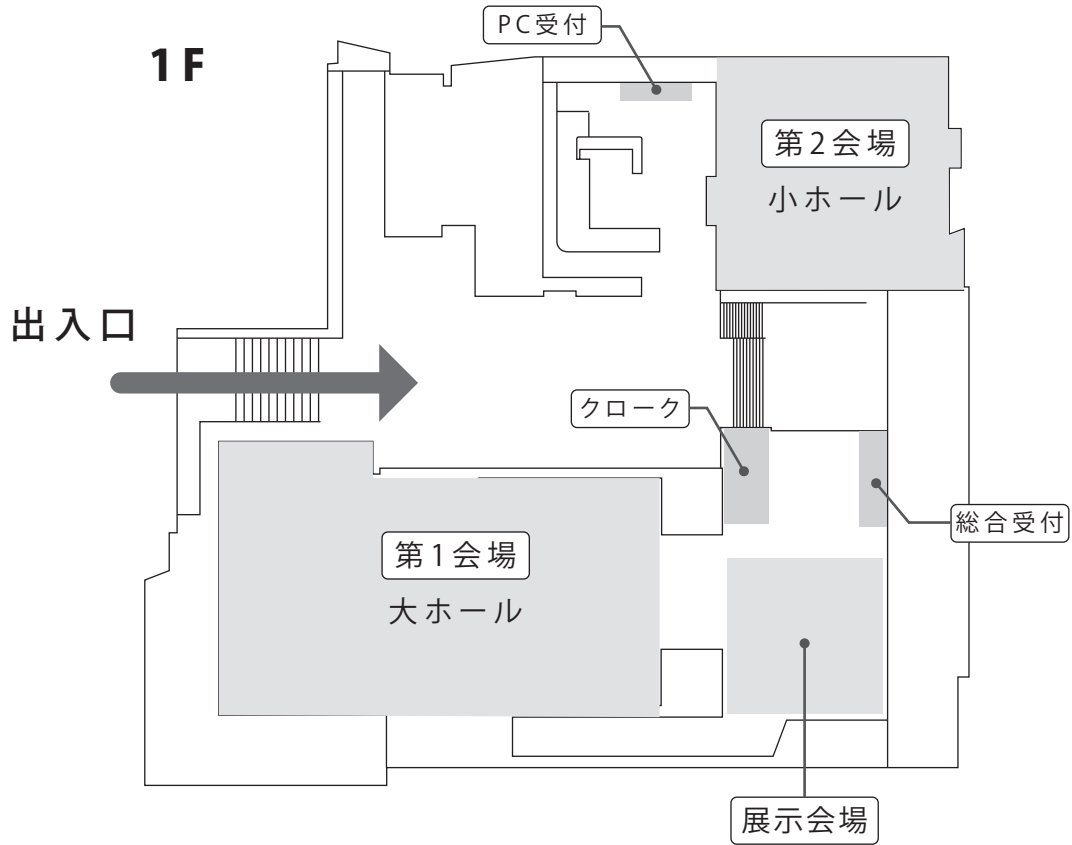


JR 浦和駅西口より徒歩 6 分

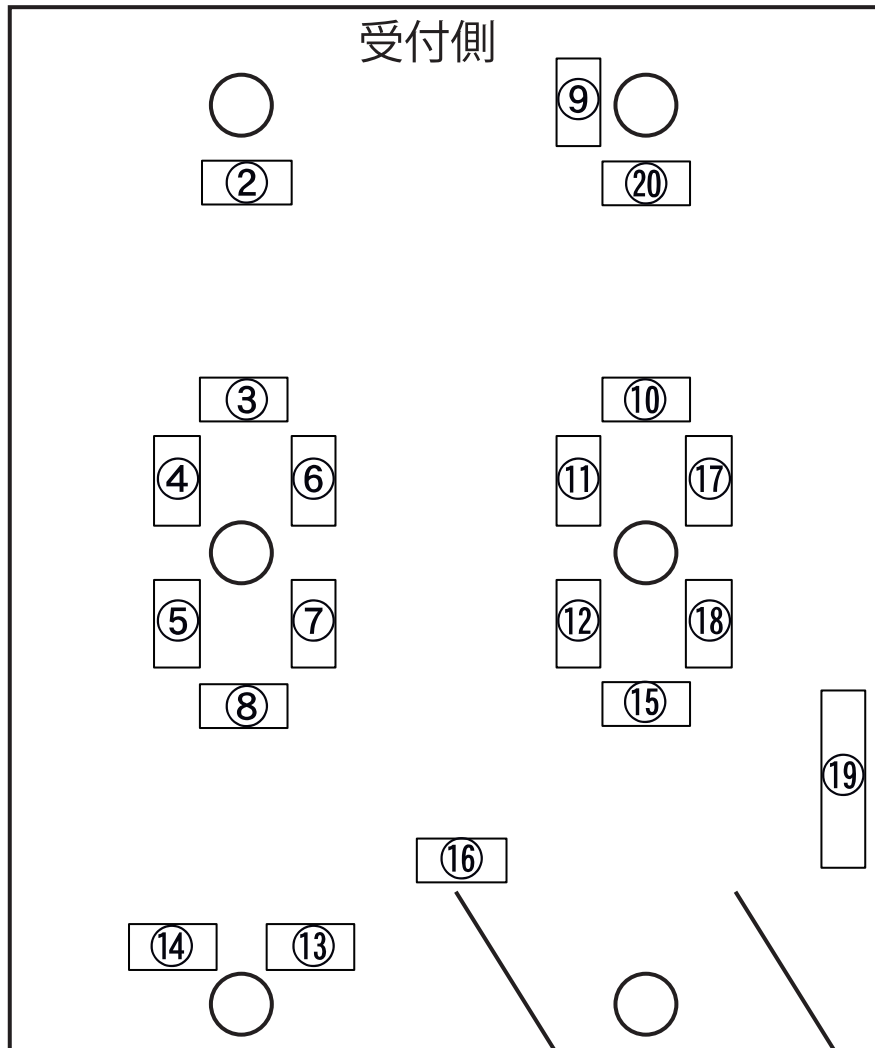
- ・ JR 上野駅から約 20 分（上野東京ライン利用）
- ・ JR 大宮駅から約 8 分
- ・ JR 新宿駅から約 26 分（湘南新宿ライン利用）

会場案内

埼玉会館



企業展示のご案内



【1F 大ホールホワイエ】

No.	企業・団体名
①	出展辞退
②	フクダ電子株式会社
③	メロディ・インターナショナル株式会社
④	株式会社メドレー
⑤	株式会社 T-ICU
⑥	ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
⑦	PHC 株式会社
⑧	株式会社円未来
⑨	ViewSend ICT 株式会社
⑩	AMI 株式会社

No.	企業・団体名
⑪	JCOM 株式会社
⑫	地域スマート医療コンソーシアム
⑬	オムロンヘルスケア株式会社
⑭	NTT テクノクロス株式会社
⑮	Holoeyes 株式会社
⑯	株式会社 ECG ラボ
⑰	アナログ・デバイス株式会社
⑱	株式会社リコー
⑲	テックウインド株式会社
⑳	株式会社 N lab

協賛企業・団体一覧

共催セミナー

株式会社 CureApp
ニプロ株式会社
日本電気株式会社
バクスター株式会社

PHC 株式会社
ViewSend ICT 株式会社
メロディ・インターナショナル株式会社

企業展示

アナログ・デバイセズ株式会社
株式会社 ECG ラボ
AMI 株式会社
NTT テクノクロス株式会社
株式会社 N lab
株式会社円未来
オムロンヘルスケア株式会社
JCOM 株式会社
地域スマート医療コンソーシアム
株式会社 T-ICU

テックウインド株式会社
PHC 株式会社
ViewSend ICT 株式会社
フクダ電子株式会社
Holoeyes 株式会社
メディゲート デジタルヘルス株式会社
株式会社メドレー
メロディ・インターナショナル株式会社
ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
株式会社リコー

WEB 抄録広告

アステラス製薬株式会社
株式会社 ECG ラボ
株式会社イーメディカル東京
株式会社医学書院
株式会社 Welby
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
ケアビレッジ光の森
サノフィ株式会社

株式会社ストローハット
テルモ株式会社
株式会社テレビ埼玉
日本イーライリリー株式会社
バーズ・ビュー株式会社
株式会社ハーディ
バクスター株式会社
株式会社ビー・エム・エル

ホームページバナー広告

株式会社 ECG ラボ
興和株式会社

寄付金

医療法人社団 喜美会
医療法人 共生会
医療法人社団 嗣業の会 外房こどもクリニック
全国市民後見推進協議会

学術大会の開催にあたりましては、以上の企業・団体より多大なるご支援を賜りました。謹んで御礼申し上げます。

(五十音順) 2022年10月12日現在

日程表

1日目：10月28日（金）

	第1会場 大ホール	第2会場 小ホール	第3会場 3C 会議室・2F ラウンジ	展示会場 大ホールホワイエ
9:00				
9:20~9:30	開会式			9:20~18:00
9:30~11:30	大会企画シンポジウム 1 パンデミック時代の ゲームチェンジャーとしての遠隔医療 ～遠隔医療を取り巻く要因 座長：宮川 祥子 安藤 裕	9:30~10:30 分科会 1 睡眠遠隔医療分科会 座長：千葉 伸太郎 吉嶺 裕之	9:30~11:00 分科会 3 周産期分科会 座長：小笠原 敏浩	
10:00		10:40~12:10		
11:00		一般演題 A-1 教育・地域連携 座長：真原 仁 秋山 美紀	11:10~12:10 一般演題 B-1 オンライン診療・COVID-19 座長：山下 巖 郡 隆之	
11:40~12:20	大会長講演 座長：近藤 博史 演者：本間 聡起			
12:00				
12:40~13:30	ランチョンセミナー 1 共催：ViewSend ICT 株式会社 座長：長谷川 高志	12:40~13:30 ランチョンセミナー 2 共催：PHC 株式会社 座長：黒崎 健一	12:40~13:30 ランチョンセミナー 3 共催：メロディ・インターナショナル 株式会社 座長：小笠原 敏浩	
13:00				
13:40~14:40	企画セッション 1 先進的な遠隔医療への 経済産業省の支援 座長：長谷川 高志 演者：廣瀬 大也	13:40~14:50 企画セッション 2 日本デジタルパソロジー研究会との 合同企画—各種医用画像の AI を 利用した統合的診断プラットフォーム の展開をめざして 座長：福岡 順也 本間 聡起	13:40~14:30 一般演題 B-2 遠隔医療・D to P 座長：大山 太 秋山 美紀	企業展示
14:00				
15:00	15:00~15:50 教育講演 会えない時代に「会う」を考える 座長：小林 直樹 演者：小林 総	15:00~15:45 一般演題 A-2 モニタリング・D to P 座長：森田 浩之	14:50~15:50 分科会 2 遠隔医療基盤検討分科会 企画シンポジウム 「ランサムウェア攻撃に対する バックアップを考える」 座長：近藤 博史 長谷川 高志	
16:00	16:00~18:00 大会企画シンポジウム 2 遠隔医療を支える 画像・映像診断の技術的進歩 座長：小林 直樹 森 一郎	16:00~18:00 大会企画シンポジウム 3 遠隔医療に利用される プログラム医療機器/SaMD の展望 座長：本間 聡起 佐竹 晃太	16:00~16:30 一般演題 A-3 遠隔医療技術 座長：松本 浩樹	
17:00			16:40~17:20 一般演題 B-3 医療教育・地域連携 座長：亀井 智子 宮川 祥子	
18:00			17:30~18:00 一般演題 B-4 服薬指導 座長：狭間 研至	

2日目：10月29日（土）

	第1会場 大ホール	第2会場 小ホール	第3会場 3C 会議室・2F ラウンジ	展示会場 大ホールホワイエ
9:00				
9:20~11:20	大会企画シンポジウム 4 パンデミック時代の ゲームチェンジャーとしての遠隔医療 ～テレワーク・働き方改革などの ライフスタイルの変容に対応する 遠隔医療 座長：本間 聡起 郡 隆之	9:20~11:20 大会企画シンポジウム 5 日本老年医学会合同企画 遠隔医療から最大の恩恵を受ける のは高齢者 座長：海老原 寛 亀井 智子	9:20~10:00 一般演題 B-5 画像技術と応用例 座長：東福寺 幾夫 石子 智士	9:20~18:00
10:00			10:20~12:20	
11:00			分科会 4 デジタル療法分科会 座長：野村 章洋	
11:25~12:15	特別講演 1 オンライン診療の発展に向けて 座長：長谷川 高志 演者：翁 百合	11:30~12:10 一般演題 B-6 モニタリング・D to P 座長：笠原 真悟 鎌田 弘之		
12:00				
12:35~13:25	ランチョンセミナー 4 共催：株式会社 CureApp 座長：谷川 朋幸	ランチョンセミナー 5 共催：ニプロ株式会社 座長：山路 安義	ランチョンセミナー 6 共催：日本電気株式会社 座長：二川 康秀	
13:00				
13:35~15:35	特別講演 2 座長：本間 聡起 秋山 美紀 地域包括ケアシステムと遠隔医療 ―在宅療養支援の観点から― 演者：田中 滋 遠隔医療への期待と課題 ～オンライン診療やオンライン技術 指導を超えて～ 演者：古川 俊治	13:35~14:50 一般演題 A-4 医療連携・D to D 座長：松本 浩樹 風間 順一郎 14:55~15:40 一般演題 A-5 遠隔医療・D to P 座長：森田 浩之	13:30~14:30 分科会 5 遠隔 ICU 分科会 座長：高木 俊介 長谷川 高志 14:40~15:30 一般演題 B-7 遠隔医療・D to P 座長：野村 和至 郡 隆之	企業展示
14:00				
15:00				
15:50~17:50	大会企画シンポジウム 6 地域医療における遠隔医療の役割 座長：秋山 美紀 米澤 麻子	15:50~17:50 大会企画シンポジウム 7 オンライン診療の現状と課題 座長：田村 秀子 黒木 春郎	15:40~16:30 スポンサードセッション 共催：パフスター株式会社 座長：中元 秀友 16:40~17:50 一般演題 B-8 医療連携・D to D 座長：高木 俊介 宮川 祥子	
16:00				
17:00				
17:50~18:00	閉会式			
18:00				

第1会場（埼玉会館 大ホール）

大会企画シンポジウム 1

9:30 ~ 11:30

座長：宮川 祥子（慶應義塾大学看護医療学部）
安藤 裕（独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター 放射線科）

パンデミック時代のゲームチェンジャーとしての遠隔医療～遠隔医療を取り巻く要因

SY1-1 遠隔医療の DX

○松本 浩樹

前橋工科大学 大学院 工学研究科 システム生体工学専攻

SY1-2 疾病・介護予防に資する住環境の現状と課題

○伊香賀 俊治

慶應義塾大学 理工学部

SY1-3 本邦における精神科オンライン診療の課題と展望

○岸本 泰士郎

慶應義塾大学医学部

SY1-4 Society 5.0 時代における新たなテクノロジーの社会展開と遠隔医療への応用の可能性 —ロボット、メタバース、デジタルツイン環境等—

○坂田 信裕

獨協医科大学 情報基盤センター、先端医科学研究センター スマート医療研究部門

SY1-5 公的個人認証サービスを用いたオンライン診療における患者本人確認

○小尾 高史

東京工業大学 科学技術創成研究院

大会長講演

11:40 ~ 12:20

座長：近藤 博史（日本遠隔医療学会会長）

遠隔医療—その黎明期から四半世紀を経てゲームチェンジャーとして新たな展開へ

本間 聡起（独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター）

ランチオンセミナー 1

12:40 ~ 13:30

共催：ViewSend ICT 株式会社
座長：長谷川高志 (NPO 法人 遠隔医療協会)

働き方改革と遠隔医療 遠隔画像診断による働き方改革の実践

LS1-1 遠隔医療の普及と働き方改革の推進

○二川 一男
株式会社日本ヘルスケア総合研究所

LS1-2 遠隔画像診断による働き方改革の実践

○東田 有智
近畿大学病院

企画セッション 1

13:40 ~ 14:40

座長：長谷川高志 (特定非営利活動法人 日本遠隔医療協会 特任上席研究員)

先進的な遠隔医療への経済産業省の支援

廣瀬 大也 (経済産業省 医療・福祉機器産業室 室長)

教育講演

15:00 ~ 15:50

座長：小林 直樹 (埼玉医科大学保健医療学部)

会えない時代に「会う」を考える

小林 稔 (明治大学 総合数理学部)

大会企画シンポジウム 2

16:00 ~ 18:00

座長：小林 直樹 (埼玉医科大学保健医療学部)
森 一郎 (国際医療福祉大学医学部)

遠隔医療を支える画像・映像診断の技術的進歩

SY2-1 医療 AI の研究促進と社会実装に関する論点整理

○長谷川 高志
特定非営利活動法人日本遠隔医療協会

SY2-2 遠隔医療を支える画像・映像診断支援技術としての人工知能と機械学習

○森 健策
名古屋大学 大学院情報学研究所, 名古屋大学・情報基盤センター,
国立情報学研究所 医療ビッグデータ研究センター

SY2-3 病理における遠隔画像診断とテレワークの可能性

○森 一郎
国際医療福祉大学医学部病理

SY2-4 マルチスペクトル画像を用いた遠隔診断向上の取組み

○小林 直樹

埼玉医科大学

SY2-5 生体認証の現状と医療分野への応用

○鈴木 裕之

群馬大学 数理データ科学教育研究センター

第2会場（埼玉会館 小ホール）

分科会 1

9:30 ~ 10:30

座長：千葉伸太郎（太田睡眠科学センター/東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室）
吉嶺 裕之（社会医療法人春回会 井上病院）

睡眠遠隔医療分科会

分科会 1-1 ○千葉 伸太郎

太田睡眠科学センター/東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室

分科会 1-2 医療連携 SNS を利用した DtoD ネットワーク

○富田 康弘

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 睡眠呼吸器科

分科会 1-3 睡眠医療における初診からのオンライン診療

○吉嶺 裕之

社会医療法人春回会 井上病院

分科会 1-4 デジタル技術を活用した持続可能な医療

○上野 太郎

サスメド株式会社

一般演題 A-1

10:40 ~ 12:10

座長：真原 仁（千葉大学医学部附属病院地域医療連携部）
秋山 美紀（慶應義塾大学環境情報学部・医学部衛生学公衆衛生学）

教育・地域連携

A-1-1 介護予防事業参加者の健康管理に対する取り組みとアプリケーションによる健康支援の希望

○館岡 周平

植草学園大学保健医療学部

A-1-2 妊娠中または授乳中の女性を対象とした薬に関するチャットボットサービス：利用者データを用いた後方視的研究

○重見 大介

東京大学大学院 臨床疫学・経済学，株式会社 Kids Public

A-1-3 遠隔医療通訳サービスコールセンターアプリを用いて行った医療通訳の有用性の検討

○長嶺 めぐみ¹⁾，森 淑江²⁾，長嶺 俊³⁾，瀧澤 清美⁴⁾

1) 群馬パース大学，2) 群馬大学，3) 伊勢崎市民病院，4) 株式会社 C&T

A-1-4 アジア発展途上国を対象とした遠隔医療教育技術に関するオンライン研修の客観的評価

○工藤 孔梨子，富松 俊太，早田 美帆，久田 由紀子，上田 真太郎，森山 智彦

九州大学病院 国際医療部

A-1-5 リカレント教育受講生の医療介護 DX への関心に関する研修後アンケート調査

○真原 仁, 阿久津 靖子, 竹内 公一
千葉大学医学部附属病院

A-1-6 医学博士取得のためのオンライン予備審査の実施と評価

○久田 由紀子, 工藤 孔梨子, 富松 俊太, 上田 真太郎, 森山 智彦
九州大学病院国際医療部

ランチョンセミナー 2

12:40 ~ 13:30

共催: PHC 株式会社

座長: 黒寄 健一 (国立循環器病研究センター 小児循環器内科)

Tele-Cardiology の活用状況と国内における取り組みについて

LS2-1 米国およびアジアでの遠隔医療の現状

○橋本 康弘
国立循環器病研究センター 理事長特命補佐、株式会社シリコンバレーテック 代表取締役社長

LS2-2 小児循環器領域での遠隔医療の経験

○黒寄 健一
国立循環器病研究センター 小児循環器内科

企画セッション 2

13:40 ~ 14:50

座長: 福岡 順也 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻病理学/日本デジタルパソロジー研究会)
本間 聡起 (独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター)

日本デジタルパソロジー研究会との合同企画—各種医用画像の AI を利用した統合的診断プラットフォームの展開をめざして

企画セッション2-1 遠隔画像診断の現状と課題

○児玉 直樹
新潟医療福祉大学 診療放射線学科

企画セッション2-2 病理学会の動向と、医用画像の統合された AI プラットフォーム開発

○白石 泰三
桑名市総合医療センター

企画セッション2-3 医用画像向け AI 研究の最新動向

○坂無 英徳
産業技術総合研究所 人工知能研究センター

座長：森田 浩之（岐阜大学大学院医学系研究科総合診療科・総合内科学）

モニタリング・D to P

A-2-1 WEB 会議サービスを利用した聴診音伝送システムの構築

○恩田 正幸^{1,2)}, 川原 潤也^{1,2)}, 郡 隆之³⁾, 松本 浩樹¹⁾

1) 前橋工科大学, 2) 群馬県立群馬産業技術センター, 3) 利根中央病院

A-2-2 新たな遠隔呼吸音モニタリングシステムの COVID-19 患者への実装

○島谷 竜俊¹⁾, 西田 翼^{1,2)}, 貞森 拓磨¹⁾, 大下 慎一郎¹⁾, 志馬 伸朗¹⁾

1) 広島大学大学院 医系科学研究科 救急集中治療医学, 2) 広島大学病院 危機医療センター

A-2-3 デイサービス利用高齢者とその家族が身体情報を共有するための ICT システムの開発

○安井 大輔^{1,2)}, 大山 太²⁾, 松本 浩樹¹⁾

1) 前橋工科大学, 2) 東海大学医学部看護学科

大会企画シンポジウム 3

座長：本間 聡起（独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター）

佐竹 晃太（日本赤十字社医療センター/株式会社 CureApp）

遠隔医療に利用されるプログラム医療機器／SaMD の展望

SY3-1 高血圧診療における DTx（Digital Therapeutics（デジタルセラピューティクス））

○竜崎 崇和

東京都済生会中央病院 腎臓内科

SY3-2 高齢化社会と未来の腎代替療法—AI と ICT を用いた透析医療—

○中元 秀友, 小林 威仁, 青柳 龍太郎

埼玉医科大学 総合診療内科

SY3-3 オンライン診療における治療用アプリの活用

○佐竹 晃太

日本赤十字社医療センター, 株式会社 CureApp

SY3-4 プログラム医療機器をめぐる薬事規制の現状と展望

○山本 晴子

医薬品医療機器総合機構

SY3-5 プログラム医療機器をめぐる政策動向～医療機器基本計画について～

○鶴田 真也

厚生労働省

周産期分科会

分科会 3-1 新型コロナウイルス感染症在宅療養妊婦における遠隔胎児心拍モニタリングの活用

○鈴木 真¹⁾，末光 徳匡²⁾

1) 旭中央病院，2) 亀田総合病院

分科会 3-2 ZOOM を活用した胎児心エコーのトレーニング、診断支援

○川滝 元良

神奈川県立こども医療センター

分科会 3-3 小型モバイル CTG によるリアルタイムモニタリングの臨床応用～母体搬送例での実証研究に関する中間報告～

○田丸 俊輔¹⁾，小川 博和²⁾，霞澤 篤³⁾，岩田 陸⁴⁾，清水 省志⁵⁾，上里 忠司⁶⁾，保母 順造⁷⁾，鮫島 浩二⁸⁾，中村 晃和⁹⁾，福嶋 恒太郎¹⁰⁾，平田 善康¹¹⁾，藤井 知行¹²⁾，木下 勝之¹³⁾，亀井 良政¹⁾

1) 埼玉医科大学病院 産科・婦人科，2) 小川産婦人科小児科，3) 霞澤産婦人科医院，4) 岩田産婦人科医院，5) 清水病院，6) 愛和病院，7) 菊地病院，8) さめじまボンディングクリニック，9) 中村産婦人科，10) 福嶋クリニック，11) 平田クリニック，12) 山王病院 産婦人科，13) 成城木下病院

分科会 3-4 iCTG を活用した切迫早産妊娠に対する在宅管理の取り組み

○末光 徳匡，安田 幸矢，小沼 圭祐，三谷 尚弘，門岡 みずほ

亀田総合病院

分科会 3-5 IoT 胎児心拍モニター iCTG を中心とした北海道後志地方における周産期遠隔医療の実証事業報告と課題の検討

○黒田 敬史¹⁾，堀 清貴¹⁾，谷垣 学¹⁾，小林 寛治²⁾，石岡 伸一³⁾，齋藤 豪³⁾

1) 北海道社会事業協会小樽病院 産婦人科，2) おたるレディースクリニック，3) 札幌医科大学 産婦人科学講座

分科会 3-6 ICT とともに歩んだ離島の産科医療の 10 年の軌跡

○藤山 レイ，小田切 幸平，吉田 弥希

名瀬徳洲会病院

座長：山下 巖 (医療法人社団法山会 山下診療所)
郡 隆之 (利根中央病院外科)

オンライン診療・COVID-19

- B-1-1** COVID-19 で変化したオンライン診療の活用方法—見えてきたオンライン診療の価値
○山下 巖
山下診療所自由が丘・大塚
- B-1-2** COVID-19 あるいは未知の感染症疑い患者に対する電話によるオンライン初診とセルフPCR 検査
○木村 真一
医療法人ユリス会きむら訪問クリニック
- B-1-3** COVID-19 自宅療養患者に対する D to P with N の経験
○田畑 恵理奈, 丹羽 崇, 萩原 恵里, 小倉 高志
神奈川県立循環器呼吸器病センター
- B-1-4** COVID-19 流行下における時限的・特例的措置によるオンライン診療利用の地域間格差
○島田 裕平
東京大学大学院法学政治学研究科
- B-1-5** 歯科医師のオンライン診療に対する認識とその実施状況
○竹田 飛鳥¹⁾, 出浦 恵子²⁾, 小宮山 和正²⁾, 阿部 有孝²⁾, 大島 修一²⁾, 福田 英輝³⁾
1) 国立保健医療科学院健康危機管理研究部, 2) 埼玉県歯科医師会,
3) 国立保健医療科学院統括研究官
- B-1-6** 歯科領域における電話診療の実態把握および COVID-19 に伴う政策介入効果：大規模レセプトデータを用いた差分の差分分析
○木下 琢也¹⁾, 松本 武浩^{1,2)}
1) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療情報学分野, 2) 長崎大学病院医療情報部

ランチョンセミナー 3

共催：メロディ・インターナショナル株式会社
座長：小笠原敏浩 (岩手県立二戸病院)

- LS3** 遠隔医療は地域の周産期医療を守る
～日本産婦人科医会 実証研究～
○平田 善康
公益社団法人 日本産婦人科医会 常務理事

座長：大山 太 (東海大学医学部看護学科)
秋山 美紀 (慶應義塾大学環境情報学部・医学部衛生学公衆衛生学)

遠隔医療・D to P

B-2-1 持続的症候モニタリングを活用しためまい診療

○野田 昌生^{1,2)}, 角田 玲子²⁾, 伏木 宏彰²⁾

1) 自治医科大学, 2) 目白大学 耳科学研究所

B-2-2 てんかん PHR を利用した遠隔診療の経験について

○岡崎 伸¹⁾, 中川 栄二²⁾

1) 大阪市立総合医療センター, 2) 国立精神・神経医療研究センター

B-2-3 遠隔検診—SMON 検診による実用性—

○和田 彩子, 川上 途行

慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

B-2-4 オンライン診療を用いた緩和ケアの有用性に関する検討

○千田 彰彦

慶應義塾大学医学部 内科学教室 (消化器)

B-2-5 遠隔音楽療法の完全遠隔化に向けた取り組みについて

○小杉 尚子¹⁾, 相川 直子²⁾, 菅谷 由紀子³⁾, 當山 房子⁴⁾, 児玉 直樹⁵⁾, 辻 正純⁶⁾

1) 専修大学, 2) NAT 音楽療法事務所,

3) 医療法人社団翔洋会 脳リハビリデイサービス大泉学園はなみずき,

4) 福祉ネットワーク・やえやま (あかゆら), 5) 新潟医療福祉大学,

6) 医療法人社団翔洋会 辻内科循環器科歯科クリニック

分科会 2

座長：近藤 博史 (日本遠隔医療学会会長)
長谷川高志 (日本遠隔医療協会)

遠隔医療基盤検討分科会企画シンポジウム

「ランサムウェア攻撃に対するバックアップを考える」

分科会 2 遠隔医療基盤検討分科会企画シンポジウム「ランサムウェア攻撃に対するバックアップを考える」の企画について

○近藤 博史

協立温泉病院

分科会 2-1 ○生田 真也

ピュア・ストレージ・ジャパン株式会社

分科会 2-2 ○神原 豊彦

ネットアップ合同会社

分科会 2-3 【ランサムウェア対策】 ネットワーク制御によるオフラインバックアップ

○福田 香奈絵
アライドテレシス株式会社

分科会 2-4 ランサムウェア対策として注目される磁気テープ～最新の技術動向～

○大月 英明
富士フイルム株式会社 記録メディア事業部

一般演題 A-3

16:00 ～ 16:30

座長：松本 浩樹（前橋工科大学大学院 工学研究科 システム生体工学専攻）

遠隔医療技術

A-3-1 Image Quality Required for Online Case Conferences on Minimally Invasive Surgery

○上田 真太郎, 工藤 孔梨子, 久田 由紀子, 富松 俊太, 清水 周次, 森山 智彦
九州大学病院 国際医療部

A-3-2 大規模災害時に在宅避難する妊婦に医療提供する看護師らを支援する医療システムの検討

○岩本 敏志^{1,2)}, 大山 太²⁾, 松本 浩樹¹⁾
1) 前橋工科大学, 2) 東海大学

一般演題 B-3

16:40 ～ 17:20

座長：亀井 智子（聖路加国際大学 大学院看護学研究科）
宮川 祥子（慶應義塾大学看護医療学部）

医療教育・地域連携

B-3-1 遠隔医療システムを用いたハンズオントレーニングの事例

○佐々木 春光
ボーダレス・ビジョン株式会社

B-3-2 遠隔講習支援のための Google Video Intelligence を用いた手技分類手法の検討

○西本 騰
立命館大学 情報理工学研究科 メディアエクスペリエンスデザイン研究室

B-3-3 iPhone のヘルスケアアプリを用いたカップル間の情報共有が、双方の身体活動量の増進に与える影響

○張 晶吾¹⁾, 秋山 美紀^{1,2)}
1) 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科, 2) 慶應義塾大学環境情報学部

B-3-4 看護系学部での遠隔医療・看護教育に関するケーススタディ

○宮川 祥子¹⁾, 本間 聡起^{1,2)}
1) 慶應義塾大学看護医療学部,
2) 独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター

服薬指導

B-4-1 オンライン服薬指導本格化に向けた薬局利用者の意識調査

○茂手木 陸¹⁾，平野 良真²⁾，加治 孝博²⁾，井上 紘子²⁾

1) 日本調剤 能見台薬局，2) 日本調剤株式会社

B-4-2 遠隔服薬指導に関する意識調査と今後の課題

○吉川 麻里子¹⁾，鈴木 大介²⁾，岩田 直穂¹⁾，立石 朝香¹⁾，萩田 夕紀子¹⁾，松原 美千代¹⁾，
安本 直世¹⁾，皆谷 和弘³⁾，中村 佳代³⁾，藍田 成実⁴⁾

1) 日本調剤安佐北薬局，2) 日本調剤名大前薬局，3) 日本調剤株式会社教育情報部，
4) 日本調剤株式会社広島支店

B-4-3 遠隔服薬指導を実施することで得られるメリットとデメリット

○近藤 俊樹，廣野 千学，田中 智枝，朝倉 美紗，金納 千栄子，奥 芳子，松下 明奈，
清水 麻友香，二宮 綾乃，一色 理沙

日本調剤 九大前薬局

第1会場（埼玉会館 大ホール）

大会企画シンポジウム 4

9:20 ~ 11:20

座長：本間 聡起（独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター）
郡 隆之（利根中央病院外科）

パンデミック時代のゲームチェンジャーとしての遠隔医療～テレワーク・働き方改革などのライフスタイルの変容に対応する遠隔医療

SY4-1 With/Post コロナ時代における地域医療とオンライン診療

○黒瀬 巖, 尾崎 治夫
公益社団法人 東京都医師会

SY4-2 産業医として「働き方改革」「テレワーク推進」における労働者の健康管理を支援する

○伊東 明雅
伊東労働衛生コンサルタントオフィス

SY4-3 医療機関における働き方改革について

○斐 英洙
ハイズ株式会社, 慶應義塾大学

SY4-4 医療機器ならびに電波環境の遠隔モニタリング

○加納 隆
滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 客員教授, 埼玉医科大学 名誉教授

SY4-5 テレワーク・働き方改革と健康経営におけるオンライン相談・PHR

○米澤 麻子
株式会社 NTT データ経営研究所

特別講演 1

11:25 ~ 12:15

座長：長谷川高志（特定非営利活動法人 日本遠隔医療協会 特任上席研究員）

オンライン診療の発展に向けて

翁 百合（日本総合研究所）

共催：株式会社 CureApp

座長：谷川 朋幸 (株式会社 CureApp/聖路加国際病院)

高血圧領域におけるオンライン診療&ICT活用の最新トレンド

LS4-1 高血圧診療における情報通信技術 (ICT) の活用とその普及に向けて

○野村 章洋

金沢大学附属病院 先端医療開発センター/循環器内科

LS4-2 ピンチをチャンスに—オンライン診療や ICT を活用した高血圧治療の最新トレンド

○谷田部 淳一

一般社団法人テレメディーズ, 福島県立医科大学腎臓高血圧内科,
イーメディカルジャパン株式会社

特別講演 2

13:35 ~ 15:35

座長：本間 聡起 (独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター)
秋山 美紀 (慶應義塾大学環境情報学部・医学部衛生学公衆衛生学)

特別講演 2-1 地域包括ケアシステムと遠隔医療—在宅療養支援の観点から—

○田中 滋

埼玉県立大学

特別講演 2-2 遠隔医療への期待と課題—オンライン診療やオンライン技術指導を超えて—

○古川 俊治

慶應義塾大学医学部外科, 参議院議員

大会企画シンポジウム 6

15:50 ~ 17:50

座長：秋山 美紀 (慶應義塾大学環境情報学部・医学部衛生学公衆衛生学)
米澤 麻子 (株式会社 NTT データ経営研究所)

地域医療における遠隔医療の役割

SY6-1 遠隔医療を活用し「自宅を病床、地域を病棟」に！

○織田 良正

社会医療法人 祐愛会織田病院

SY6-2 遠隔医療における ICT を活用した認知症看護特定認定看護師の役割

○富樫 千代美

鶴岡市立荘内病院

SY6-3 **新たな技術シーズを活用した離島での遠隔医療の取組**

○前田 隆浩

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 総合診療学分野,
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座

指定発言

○伊関 友伸

城西大学経営学部

座長：海老原 覚（東北大学大学院医学系研究科 内部障害学分野）
亀井 智子（聖路加国際大学 大学院看護学研究科）

遠隔医療から最大の恩恵を受けるのは高齢者

SY5-1 高齢者オンライン診療に関する提言と遠隔リハビリテーション

○海老原 覚
東北大学大学院医学系研究科内部障害学分野

SY5-2 オンライン診療を用いた新しい高齢者総合機能評価（CGA）の可能性

○野村 和至
医療法人社団野村医院

SY5-3 超高齢社会における聴力低下の遠隔医療への影響とヒアリングフレイル予防への取り組み

○中石 真一路
ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社, 聴脳科学総合研究所

SY5-4 「高齢者の健康づくりに資するスマートウォッチ等デジタル機器活用事業」の取り組み

○笹井 浩行
東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム

SY5-5 在宅高齢者へのテレナーシング—実践とその課題—

○亀井 智子
聖路加国際大学大学院

一般演題 B-6

座長：笠原 真悟（岡山大学学術研究院医歯薬学域 心臓血管外科）
鎌田 弘之（盛岡赤十字病院健診部）

モニタリング・D to P

B-6-1 新しいホルター心電図サービスを提供する検査状況把握システムについて：EGホルターシステム

○鎌田 弘之²⁾, 増田 良太¹⁾, 吉岡 良真¹⁾
1) 日東電工株式会社 全社技術部門 新規事業本部 情報インターフェイス事業推進部,
2) 盛岡赤十字病院健診部

B-6-2 オンラインおよびオンサイトヨガレッスン中の酸素消費量に関する検討

○三浦 久子, 三浦 平寛, 高橋 珠緒, 海老原 覚
東北大学大学院医学系研究科内部障害学分野

B-6-3 Apple Watch を活用したへき地オンライン診療の継続可能性評価

○兼松 智恵子
AP TECH 株式会社

B-6-4 地域医療・在宅医療における計測データ自動取得バイタルデバイス貸与の効果評価

○松本 武浩¹⁾、木下 琢也²⁾
1) 長崎大学病院 医療情報部, 2) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療情報学

ランチオンセミナー 5

12:35 ~ 13:25

共催：ニプロ株式会社

座長：山路 安義 (独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター 腎臓内科)

LS5 医療者と患者と医療機器を遠隔で「つなぐ」

○吉岡 淳
日本赤十字社仙台赤十字病院臨床工学技術課

一般演題 A-4

13:35 ~ 14:50

座長：松本 浩樹 (前橋工科大学大学院 工学研究科 システム生体工学専攻)
風間順一郎 (福島県立医科大学腎臓高血圧内科学講座)

医療連携・D to D

A-4-1 聴診音伝送機能を有する救急搬送支援システム

○恩田 正幸¹⁾、川原 潤也¹⁾、松本 浩樹¹⁾
1) 前橋工科大学, 2) 群馬県立群馬産業技術センター

A-4-2 遠隔胎児心拍数モニタリング普及の現状と課題

○小笠原 敏浩
岩手県立二戸病院

A-4-3 遠隔医療による維持透析診療サポートプロジェクト・福島モデル—現状と展望—

○風間 順一郎
福島県立医科大学腎臓高血圧内科学講座

A-4-4 遠隔会議を用いた内視鏡ライブ配信への技術支援の評価

○富松 俊太, 工藤 孔梨子, 上田 真太郎, 久田 由紀子, 清水 周次, 森山 智彦
九州大学病院

A-4-5 遠隔画像診断サービスによる大学病院の医師の働き方改革などの効果の調査

○嗣江 建栄¹⁾、東田 有智²⁾、劉 馨雁³⁾
1) ViewSend ICT 株式会社, 2) 近畿大学病院, 3) 中国中医科学院广安門病院

座長：森田 浩之（岐阜大学大学院医学系研究科総合診療科・総合内科学）

遠隔医療・D to P

A-5-1 遠隔連携診療を推進するための課題に関する考察

○長谷川 高志
日本遠隔医療協会

A-5-2 本邦におけるオンライン診療の実効性と役割～COVID-19 と海外在住邦人の経験からの考察～

○丹羽 崇^{1,2)}，池田 宇大²⁾，田畑 恵里奈^{1,2)}
1) 神奈川県立循環器呼吸器病センター，2) 株式会社 Medifellow

A-5-3 ポータブル分娩管理装置導入後の妊婦の思い

○吉田 弥希，杉田 梨乃，藤山 レイ，小田切 志穂，保 絵里子，前島 恵美奈
名瀬徳州会病院産婦人科

大会企画シンポジウム 7

座長：田村 秀子（田村秀子婦人科医院）
黒木 春郎（医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック）

オンライン診療の現状と課題

SY7-1 日本における COVID-19 とデジタル医療の広がり、そしてその先へ

○武藤 真祐
医療法人社団 鉄祐会

SY7-2 精神疾患の定量化を目指して：スクリーニングや重症度評価を可能とする医療機器開発

○岸本 泰士郎
慶應義塾大学医学部

SY7-3 てんかんオンライン診療の技術的発展性と制度的制約

○中里 信和
東北大学大学院 医学系研究科 てんかん学分野

SY7-4 在宅医療の可能性を支える医療 IT への期待

○香取 照幸
上智大学 総合人間科学部，一般社団法人未来研究所臥龍

指定発言

○長島 公之
公益社団法人 日本医師会

一般演題 B-5

9:20 ~ 10:00

座長：東福寺幾夫（高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科）
石子 智士（旭川医科大学医工連携総研講座）

画像技術と応用例

B-5-1 マルチスペクトル映像カメラを用いた遠隔診療用生体信号検出の検討—体表映像からのバイタルデータ計測の可能性

○小林 直樹¹⁾，安野 大樹¹⁾，石井 杏花¹⁾，石川 雅浩¹⁾，本間 聡起^{2,3)}

- 1) 埼玉医科大学保健医療学部
- 2) 独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター
- 3) 慶應義塾大学看護医療学部・同 SFC 研究所

B-5-2 遠隔診療支援を行った急性期スティーヴンス・ジョンソン症候群の一例

○伊藤 賀一，清水 映輔，佐藤 真理，小川 葉子，根岸 一乃

慶應義塾大学病院眼科学教室

B-5-3 山形県庄内地方における有機 EL 技術、光ファイバーを使用した離島のオンライン診療の報告

○陳 正浩¹⁾，島貫 隆夫¹⁾，佐々木 邦義¹⁾，小松 秀樹²⁾，時松 緑³⁾

- 1) 日本海総合病院
- 2) 日本海八幡クリニック
- 3) 飛島診療所

B-5-4 画像の色補正に関する検討～色票を使用した色補正アルゴリズム開発と評価～

○東福寺 幾夫

高崎健康福祉大学

分科会 4

10:20 ~ 12:20

座長：野村 章洋（金沢大学附属病院 先端医療開発センター/循環器内科）

デジタル療法分科会

分科会 4-1 米国における DTx に関わる制度及び社会実装について

○笠原 真吾

米国医療機器・IVD 工業会

分科会 4-2 欧州での DTx の現状とその特徴

○岸 暁子

東京大学 工学系研究科バイオエンジニアリング専攻個別化保健医療講座

分科会 4-3 日本における Digital Therapeutics の社会実装～高血圧領域の事例～

○谷川 朋幸

聖路加国際病院，株式会社 CureApp

共催：日本電気株式会社

座長：二川 康秀 (日本電気株式会社 医療ソリューション事業部門 ソリューション推進グループ)

LS6 進化する地域連携～医療 DX とチーム医療の力～

○白井 純宏¹⁾，吉岡 正一¹⁾，中尾 浩一²⁾

1) 済生会熊本病院 外来運営部，2) 済生会熊本病院 院長室

座長：高木 俊介 (横浜市立大学附属病院 集中治療部)

長谷川高志 (日本遠隔医療協会)

遠隔 ICU 分科会

分科会 5-1 当院における遠隔 ICU の運用と成果—Tele-ICU 看護師の役割遂行に必要とされる能力開発と診療の補助・看護支援の実際—

○吉田 友美，飯田 八重子，梶原 沙央里，加藤 耕平

横浜市立大学附属病院 ICU

分科会 5-2 日本の集中治療室における米国の遠隔集中治療患者管理プログラム導入の効果

○渡辺 太郎，五十嵐 友美，河野 奈緒，喜久山 和貴，染井 將行，小谷 透

昭和大学医学部集中治療医学講座

分科会 5-3 世界 12 カ国に同時展開した遠隔 ICU 支援にみる国際支援のニューノーマル

○鴻池 善彦，中川 悠樹，市村 健二，上川 智彦，森口 真吾，寺前 洋生，中西 智之

株式会社 T-ICU

分科会 5-4 モニタリングカメラの映像解析による患者重症度推定の可能性

○南部 雄磨^{1,2)}，田端 篤¹⁾，青山 祥太郎^{1,2)}，辻 杏歩^{1,2)}，飯田 裕太^{1,2)}，長田 光平^{1,2)}，山本 浩平^{1,3)}，高木 俊介^{1,4)}

1) 株式会社 CROSS SYNC，2) 横浜市立大学，3) 北里大学，4) 横浜市立大学附属病院

座長：野村 和至 (医療法人社団 野村医院)

郡 隆之 (利根中央病院外科)

遠隔医療・D to P

B-7-1 都道府県のオンライン診療に関する実態調査

○古城 隆雄¹⁾，畠田 幸一郎²⁾，杉田 義博³⁾，西村 正大⁴⁾，杉山 賢明⁵⁾，原田 昌範⁶⁾

1) 東海大学健康学部，2) 山口県健康福祉部医療政策課，3) 日光市民病院，
4) 地域医療振興協会 地域医療研究所，5) 一般社団法人みんなの健康らぼ，
6) 山口県立総合医療センターへき地医療支援センター

B-7-2 対面診療に対する遠隔精神医療の治療効果の比較：ランダム化比較試験に基づくシステムティックレビューとメタアナリシス

○木下 翔太郎^{1,2)}、萩 勝彦³⁾、黒川 駿哉⁴⁾、高宮 彰紘⁴⁾、藤川 真由^{4,5)}、飯塚 真理^{4,6)}、古川 渉太^{1,4,7)}、江口 洋子⁴⁾、岸本 泰士郎^{1,4)}

- 1) 慶應義塾大学医学部 ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座,
- 2) 東京大学大学院学際情報学府,
- 3) 住友ファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部,
- 4) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室,
- 5) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野,
- 6) 横浜市立市民病院神経精神科,
- 7) つつじメンタルホスピタル精神科

B-7-3 看護師特定行為などの支援を目的とした DtoNtoP 形式のオンライン診療の検討

○郡 隆之

利根中央病院 外科

B-7-4 D to P with D 診療における診療報酬制度の課題と問題点

○蒸野 寿紀^{1,2)}、西川 彰則^{2,3)}、園木 孝志²⁾、上野 雅巳¹⁾

- 1) 和歌山県立医科大学,
- 2) 和歌山県立医科大学 血液内科,
- 3) 和歌山県立医科大学附属病院 医療情報部

B-7-5 フランスにおける遠隔診療用キャビン普及の背景と現状

○グジス 香苗

アイ・シー・ネット株式会社

スポンサードセッション

15:40 ~ 16:30

共催：バクスター株式会社

座長：中元 秀友 (埼玉医科大学病院 総合診療内科 教授)

遠隔医療の活用例と診療報酬

SS-1 腹膜透析における遠隔モニタリングの新しい流れ

○森本 耕吉¹⁾、吉田 理¹⁾、鷺田 直輝²⁾

- 1) 慶應義塾大学 医学部 血液浄化・透析センター,
- 2) 国際医療福祉大学 医学部 腎臓内科

SS-2 遠隔医療の今後と診療報酬の方向性

○中元 秀友

埼玉医科大学 総合診療内科

一般演題 B-8

16:40 ~ 17:50

座長：高木 俊介 (横浜市立大学附属病院集中治療部)

宮川 祥子 (慶應義塾大学看護医療学部)

医療連携・D to D

B-8-1 医師対医師 (DtoD) 遠隔医療による専門医紹介最適化の検討

○下浦 優希^{1,7)}、古矢 裕樹^{2,7)}、齊藤 吉紀^{3,7)}、佐藤 友紀^{4,7)}、杉谷 直大^{5,7)}、山田 裕揮^{6,7)}

- 1) 大阪大学,
- 2) Beth Israel Deaconess Medical Center, Harvard Medical School,
- 3) 太田記念病院,
- 4) 広島市立舟入市民病院,
- 5) 東京女子医科大学病院 膠原病リウマチ内科,
- 6) 和歌山県立医科大学 リウマチ・膠原病科学講座,
- 7) 株式会社 Medii

- B-8-2** DtoD 遠隔医療の普及における「顔の見える関係性」構築システムの重要性
○小山 大和¹⁾, 古矢 裕樹^{2,4)}, 齊藤 吉紀^{3,4)}, 杉谷 直大⁴⁾, 山田 祐揮⁴⁾, 高田 和生¹⁾
1) 東京医科歯科大学, 2) ハーバード大学医学大学院 BIDMC, 3) 太田記念病院,
4) 株式会社 Medii
- B-8-3** PHR に提供する検体検査情報に関する課題について
○相羽 良寿, 松田 正幸, 能川 琴子, 真原 仁, 竹内 公一
千葉大学医学部附属病院
- B-8-4** 簡易なテレワークシステムの医療機関への応用の可能性
○小林 直樹¹⁾, 石川 雅浩¹⁾, 本間 聡起^{2,3)}
1) 埼玉医科大学保健医療学部,
2) 独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター,
3) 慶應義塾大学看護医療学部・同 SFC 研究所
- B-8-5** 新生児医療におけるビデオ音声通話アプリケーションを用いた地方基幹病院への遠隔支援
○木下 正啓
久留米大学医学部小児科学講座
- B-8-6** 救急医療の適正化・効率化に向けて
○松田 正幸, 真原 仁, 竹内 公一
千葉大学医学部附属病院 患者支援部
- B-8-7** ICT を活用した医科歯科連携に関する事例調査
○南谷 真理子, 埜 由布子, 朝長 大
株式会社 NTT データ経営研究所

第 26 回日本遠隔医療学会学術大会
プログラム集

大会長 本間 聡 起
大会事務局 埼玉メディカルセンター 健康管理センター
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 4-9-3



医療を通じて 社会に貢献する

必要とされる医療を届けるために。
テルモは、医療現場のニーズに応え、
ともに患者さんの未来を支えていきます。



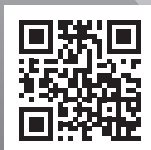
環境の多様化に、「情報」で貢献する。

バクスタープロは、医療従事者の良きパートナーをめざします。

患者さん一人ひとりのニーズに寄り添った医療を提供し続ける。そうした医療従事者の皆さまを支えるパートナーでありたい、とバクスターは考えています。医療関係者向けウェブサイト「バクスタープロ」は、そんな私たちの想いをカタチにしたものです。疾患に関する基本情報から製品情報まで、臨床に役立つさまざまなコンテンツをラインナップ。変化する環境の中で、必要な情報を必要なときにご提供することで、医療の現場に貢献します。



- 製品情報
- 領域別情報
- 特集 / エキスパート医師からのメッセージ
- 学会・セミナー情報
- 製品に関するお知らせ
- 資料ダウンロード



医療関係者向けウェブサイト
バクスタープロ

<https://www.baxterpro.jp>



-

We chase the *miracles* of science to improve people's lives

私たちは人々の暮らしをより良くするため、科学のもたらす奇跡を追求します。

-

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー

www.sanofi.co.jp

sanofi

医療現場で活用できるアプリケーション 「予診くん」好評発売中！

※ 本アプリはプログラム医療機器ではありません。

リング型パルスオキシメータ 「チェックミーリング」を利用して 「予診くん」が不整脈を視覚化

予診くんは、チェックミーリングから得られる脈波を検出し、血中酸素濃度、脈拍数、脈拍変動のデータをグラフ表示することができます。また、脈拍の間隔を計算しながらリアルタイムにグラフ化（ローレンツプロット）することで、不整脈を視覚化させ、迅速に発見できるプログラムです。

診察待ちで待合室に座っている間に、患者さまの血中酸素飽和度測定と同時に不整脈のチェックも行えるすぐれたソフトです。診察前の予備検査としてご活用いただけます。

リング型パルスオキシメータ チェックミーリング
医療機器認証番号：304AABZX00029000



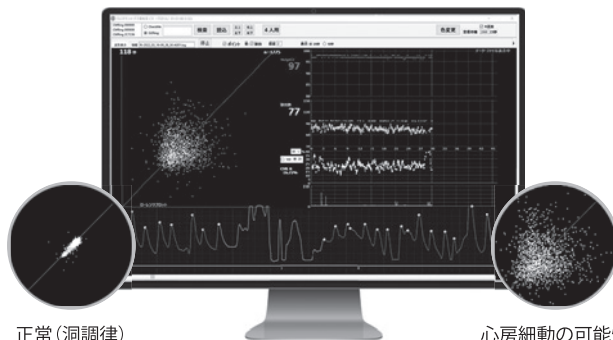
コード不要の Bluetooth接続



1台のパソコンでチェックミーリングが4台まで接続いただけます。接続の有効範囲は約30m程度となります。
※屋内の場合、壁など障害物の影響を受けることで有効範囲が低下します。



ローレンツプロットによる 心拍異常を視覚化



正常(洞調律)

心房細動の可能性

心電から得られるローレンツプロットとは少し表現が変わりますが、リズムの変化を捉えることができるので心拍異常の発見には問題ありません。

パルスオキシメータ予備検査ソフト



予診くんの詳しい
内容はこちら

予診くん

<https://www.ecg-labo.com/yoshinkun/>

そのシステム、
骨組みはしっかりしていますか？



DocHardy

—健診・人間ドック総合管理システム—

Hardy

株式会社 ハーディ

〒106-0041
東京都港区麻布台2-3-5 ノアビル
Tel. 03-5545-3700 (代表) Fax. 03-5545-3710

<http://www.hardy.co.jp/>



導入コストを抑えたい



万が一の災害やデータ破損の
リスクに備えたい



流行りの
クラウドを採用したい

どちらか選ぶ時代から、
どちらも実現する時代へ。



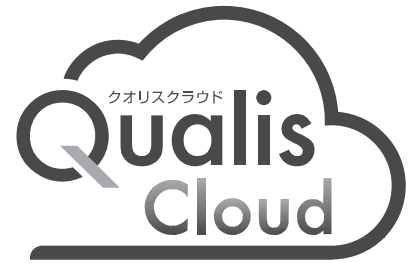
機能やカスタマイズが
充実している方がいい



いざという時には
現地でもサポートしてほしい



院内の機器と連携して
業務を効率化したい



スマートクライアント方式採用 クラウド型電子カルテ

オンプレミス型、クラウド型、
それぞれのメリットを融合した
「スマートクライアント方式」を採用。
クラウド専用アプリ使用により
従来のブラウザ方式では不可能だった
多機能を実現し、多岐にわたるニーズにも応えます。

2022年4月より稼働開始

オンラインデモお申込み
お問合せはこちら >



株式会社ビー・エム・エル 医療情報システム営業部 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-21-3 <http://www.bml.co.jp/>

BIRD'S VIEW  弊社は「鳥の視点」で
“遠隔医療×テクノロジー”の推進に寄与していきます。

遠隔医療×テクノロジー

救急・災害医療に鳥の視点を

バース・ビュー株式会社
info@birdsvie.jp

東京都 文京区 本郷4-5-10 サンファミリー本郷 3F
<https://www.birdsvie.jp/>



10万項目、著者1万人。
知りたい情報が、いつも手元に。

今日の診療

▶ プレミアムWEB
▶ ベーシックWEB

- ✓ 現場ですぐ役立つ総合診療データベース
- ✓ PC・タブレット・スマートフォンで、いつでもどこでも。さらに、オフライン*でも
- ✓ 高機能な検索システム
- ✓ 常に最新情報にアクセス—収録コンテンツの改訂に伴い、データをアップデート
- ✓ 3,080円/月・34,320円/年から。目的と使用環境に応じた多様なプランをご用意

*「Windowsインストールオプション付」プランのご契約が必要です



収録コンテンツ一覧

★は『今日の診療プレミアムWEB』でのみご利用いただけます。

- 今日の治療指針 (2年分収録)
- 今日の救急治療指針
- 今日の精神疾患治療指針★
- 急性中毒診療レジデントマニュアル★
- 治療薬マニュアル
- 今日の小児治療指針
- 新臨床内科学★
- 医学書院 医学大辞典★
- 臨床検査データブック
- 今日の整形外科治療指針
- 内科診断学★
- 患者説明資料 その場で印刷して患者さんに渡せます
- 今日の診断指針
- 今日の皮膚疾患治療指針★
- ジェネラリストのための内科診断リファレンス★
- 診療報酬点数

料金等詳細は

🔍 今日の診療 個人向け

<https://www.igaku-shoin.co.jp/todaysdtp>

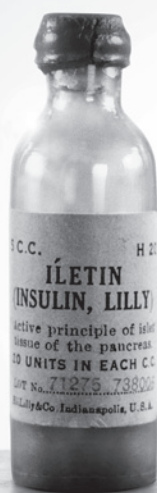


医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト]<https://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp

いままでも、そしてこれからも。

わたしたちリリーは、糖尿病とともに歩む、
糖尿病治療のベストパートナーを目指しています。



Lilly

PP-LD-JP-0766 2022年4月作成

日本イーライリリー株式会社

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

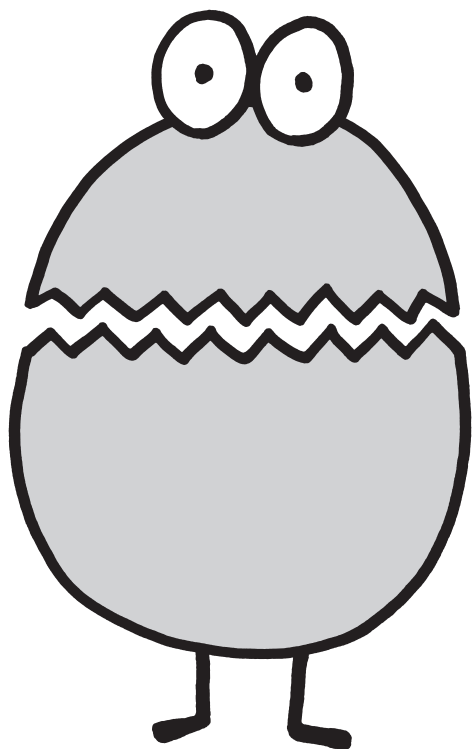
明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

www.astellas.com/jp/

明日は変えられる。

 **astellas**
アステラス製薬株式会社



あなたにカンケイあるテレビ

テレ玉。

テレ玉アプリ無料ダウンロードはコチラ ▶





ケアビレッジ 光の森

医療法人 共生会

介護老人保健施設「光の森」

福島県郡山市横川町字遠後50-1 ☎024(956)8100

社会福祉法人 共生福祉会

ケアハウス「光の森の家」

福島県郡山市横川町字遠後50-8 ☎024(956)8500

特別養護老人ホーム「光の森の丘」

福島県郡山市安原町字谷津171-1 ☎024(956)6800

遠隔画像診断支援サービス

“依頼医に応える画像診断”

診療放射線技師

依頼目的と送信画像、返却レポートの確認により依頼医と読影医の橋渡しを行います。

専門の画像診断医

統一性のあるレポート、サブスペシャリティ領域により高品質な画像診断を行います。

遠隔画像診断システム

グループ内でのシステム開発により、施設や目的にあったソリューションを提供します。



読影メニュー【診療】CT / MR / RI / 冠動脈CT / 心臓MR / 大腸CTなど
 【健診・検診】胸部CR / 胃透視 / MMG / 眼底など

大腸CT検査 (CT colonography)

特定非営利活動法人 大腸CT推進支援センターとの連携により

導入支援・技術指導・遠隔画像診断

導入に向けた勉強会 / 前処置法のご相談 / 撮影技術指導を含む支援を行っています。

遠隔画像診断では『Ax画像の送信のみ』で、大腸CT専門技師による解析を行い、専門医による撮影範囲全体の読影レポートと3次元画像をあわせて返却いたします。

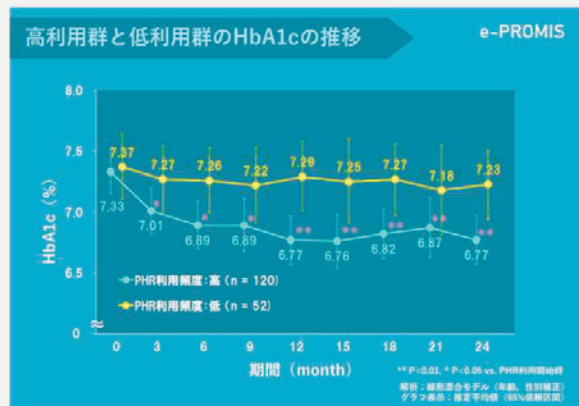
遠隔読影に関するお問合せは

welby マイカルテ




「Welby(ウェルビー)マイカルテ」は生活習慣病の患者さんの日々の習慣・家庭での血圧、血糖値、体重などのデータを記録・管理して、医療者がモニタリング、指導に活用できるPHRサービスです。


Welbyマイカルテを利用した糖尿病治療でHbA1cのコントロール改善が報告されました




Welbyマイカルテにより記録を継続したII型糖尿病患者さんはHbA1cのコントロールが改善することが示されました。
 (第65回日本糖尿病学会年次学術集会総会にて発表)

遠隔医療でご利用いただくメリット

- 
臨床的なアウトカム改善

生活習慣を記録、患者さんの状態を見える化することで具体的な指導につなげ、患者さんの行動変容を促す
- 
タイムリーな状態把握

必要とされる患者さんに対して急変時などでもデータに基づき受診要否の判断が可能
- 
問診に要していた時間の効率化

前回受診からのバイタルや食事の状態を画面で確認できるので聞き取りに要する時間を大幅に削減

サービスに関する
お問い合わせは
こちら



株式会社Welby

✉ promotion@welby.jp

☎ 0120-095-655 (受付時間 平日10:00-17:30)

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目11番1号

関電不動産八重洲ビル 4階